

人の体は思いが集まる場

1980年代の精神神経免疫学の研究により、神経学者のキャンディス・パート博士は体と感情、治癒システムと心をつなぐ化学物質を発見し、体のすべての細胞に心があることを発見しました。今では更に心と体がつながっていると言うより、心と体はひとつである事を科学が明らかにしつつあります。

ニューヨークのがんの名医、ミッチェル・ゲイナー博士は多くの患者さんと接することを通して、人間の体には過去のトラウマや過去に抱いた否定的な思いや感情がすべて刻み込まれていると述べています。

体は自分の思いが集まっている場と見ることができます。体の場は潜在意識とひとつに繋がり、普段気づくことのない、自分の体に記憶された思いは、何かのきっかけで表面に表れ、またその時の感情と共に潜在意識に潜っていきます。潜在意識レベルで、他の人の心と繋がっていると言われており、心理学では集合の無意識と言われています。

自分の家庭は家族みんなの心が集まった場であり、日本という国は日本人の心が集まった場と言えるでしょう。家庭をより快適にし、日本をさらに住みよい国にする近道は、先ず体の場に集まった過去の自分の心を洗い流し、心の老廃物を綺麗にすることだと思います。先ず自分から「心が若く、元気になり、人生が楽しくなる」場作りを始めましょう。

心も体も元気にきれいにする事を意図して制作したのがこの自然音「美しい日本の自然音」です。私は18年間、自然の音を自分の生活環境と仕事の快適環境づくりに使っていますが、そのお蔭で心豊かに元気な毎日を送っています。